

消費者の健康意識と酒類消費について

情報技術支援部門 宇都宮 仁

1. はじめに

人が飲酒する動機としては、帰属する社会への集団意識をより親密に得たいとする動機、不安など負の感情状態からの逃避や緩和を図るための動機、酔いによる気分高揚性の動機、食事のおいしさや知的な快楽を求める動機などがあります。一方、飲酒に抑圧的に働く動機としては、酩酊への嫌悪感とともに過剰なカロリー摂取や健康を損ねることを避けたいという健康上の動機があるとされています。当所では平成16年2月に「消費者の健康に関する意識と酒類消費との関係調査」を実施しましたが、その後、メタボリックシンドロームに対応した新たな健康診断制度の開始などの影響により、消費者の健康意識は変化しており、酒類消費にも影響を与えていることが予想されます。そこで、前回とほぼ同じ内容のインターネット調査を、平成21年2月に全国の成人男女5,875人を対象として実施しました。

2. 健康意識及び健康状態とその変化

「自分を健康だと思うか」という質問に対し、全体の約6割の人が「そう思う」、「ややそう思う」と肯定的でした。しかし、前回調査と比較して「そう思う」と回答した人は減少し、特に男性20代、男性40代、女性40代では1割以上減少していました。

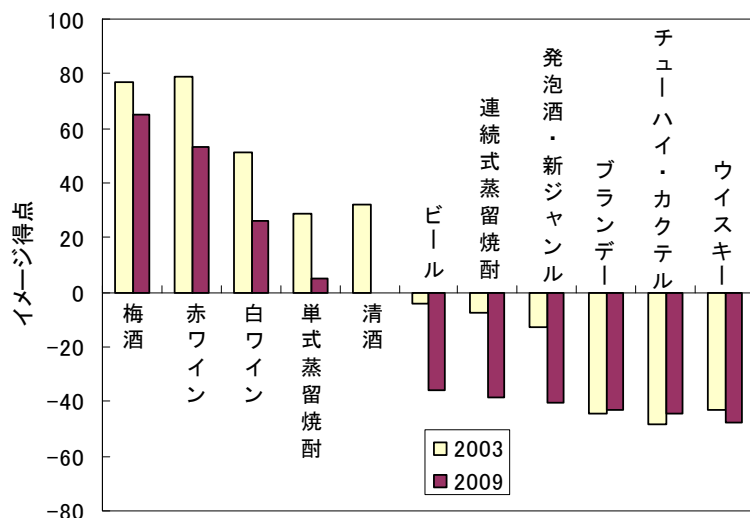
健康状態に関する質問に対しては、前回調査と比較すると「太り気味である」、「疲れやすい」、「便秘しやすい」などの自覚症状のある人が増加し、「肝障害を示す値が高い」など病状を示す人は同じかやや減少していました。これらの結果から、病気ではないが何らかの自覚症状がある、いわゆる未病状態で、健康にやや不安を感じている人が増えているのではないかと考えられます。

3. 酒類に対する健康イメージの低下

消費者が各酒類に対してどのような健康イメージを持っているかについて、「健康に良いと思う」、「まあ、健康に良いと思う」、「どちらともいえない」、「あまり健康によくない」、「健康によくない」の5段階で質問した結果を、+2~-2の得点で重み付けしイメージ得点として図1に示します。清酒 -0.2 (△32.2、前回調査との差-以下同じ)、ビール -35.7 (△31.8)、連続式蒸留焼酎 -38.5 (△31.2)、発泡酒・新ジャンル -40.3 (△27.3)、赤ワイン 53.5 (△25.7)、白ワイン 25.9 (△25.4)、単式蒸留焼酎 5.3 (△23.2)など、ほとんどの酒類で、前回調査と比較して健康イメージが大きく低下しています。

さらに、酒類ごとに「健康に良いとされる成分が含まれている」など、健康と関連する個々のイメージについて得点化したところ、清酒では「健康に良いとされる成分が含まれている」というイメージは比較的高いものの、「カロリーが高い」、「二日

図1 酒類に対する健康イメージ



酔いになりやすい」、「糖尿病になりやすい」、「肝臓への負担がかかりやすい」などマイナスイメージも高いという結果でした。

4. 20代男女の飲酒に対する意識・行動

成人の飲酒実態と生活習慣に関する実態調査研究（厚生労働科学研究 200825026A）によると、20～24歳では女性の飲酒率が男性を上回ったと報告されています。今回の調査においても、女性20代の飲酒率は、30～40代女性に比べ5%以上高く、また、飲酒者の平均飲酒量も、男性20代が40代より少ないのに対し、女性20代は40代より多いという結果でした。

飲酒に対する種々の意識・行動について、「当てはまる」又は「やや当てはまる」との回答を合計した比率を比較すると、20代女性飲酒者の「お酒を飲みながら、話したり騒いだりすることが好きだ」は男性各世代より高く、「お酒を飲むときは飲みたいだけ飲む」、「つき合いがあるので飲酒は欠かせない」や「飲みたくなくても飲み会などに誘われるとたいていは参加する」も40代女性より高くなりました。また、お酒を選ぶときに重視するポイントとしては、20代女性飲酒者では「食事がおいしくなる」より「誰と一緒に飲むか」というコミュニケーションを重視していることがうかがえました。

なお、20代男性飲酒者も、40代男性と比較して「つき合いがあるので飲酒は欠かせない」や「飲みたくなくても飲み会などに誘われるとたいていは参加する」比率が高く、さらに「誰と一緒に飲むか」も高いことから、彼らもコミュニケーションを重視していると考えられます。

一方、男性20代非飲酒者では、飲酒しない理由として「お酒が好きではない」、「あまりお酒を美味しいと思わない」という回答比率が「お酒に弱い」を大きく上回っており、さらに「お酒ではなく他のこと（趣味など）に時間を使いたい」との回答比率も性別世代別のなかで最も高いという結果でした。

表 男女20代40代の飲酒に対する意識・行動の比較

	男性 20代	男性 40代	女性 20代	女性 40代
飲酒率：飲まない、以前飲んでいてやめた以外 (%)	81.2	83.1	72.2	66.1
飲酒者の1回平均飲酒量が日本酒換算1合以上 (%)	49.1	65.8	41.3	33.5
飲酒者の意識・行動：当てはまる、やや当てはまるの合計 (%)				
お酒を飲みながら、話したり騒いだりすることが好きだ	60.7	59.3	68.2	66.4
お酒を飲むときは飲みたいだけ飲む	47.5	38.1	46.3	33.6
つき合いがあるので飲酒は欠かせない	32.2	24.9	22.8	12.6
飲みたくなくても飲み会に誘われるとたいていは参加する	48.5	38.5	40.2	31.8
酒類選択時に重視するポイント：重視する、やや重視するの合計 (%)				
食事がおいしくなる	54.2	52.2	59.3	62.0
誰と一緒に飲むか	62.5	45.1	68.4	49.5
非飲酒者のお酒を飲まない理由（複数回答） (%)				
あまりお酒を美味しいと思わない	48.1	34.8	33.2	42.0
お酒が好きではない	55.1	32.6	33.5	40.1
お酒に弱い	38.4	53.8	36.2	40.1
お酒ではなく他のことに時間を使いたい	17.5	3.5	8.7	8.6
お金を節約するため	11.6	6.2	12.6	4.7
	男性 20代	男性 40代	女性 20代	女性 40代